

ドミニク・アミリアン、新代表取締役社長に就任

みかど協和(株)(本社：千葉県千葉市緑区/代表取締役社長：ドミニク・アミリアン)は、2020年7月1日付で、代表取締役社長ロドルフ・ミレ (Rodolphe Millet) の後任とし、ドミニク・アミリアン (Dominique Amilien) が代表取締役社長に就任したことを発表いたします。



■ 就任に際してドミニク・アミリアンのコメント

「コロナウイルスの影響を受けた現在、農業関連業界全体が一丸となり、明日や未来において食料を安定供給すること、その活動を積極的に進めていくことの大切さを示唆しています。高品質の野菜を安定して供給すること、これを私たちの使命として、今後も邁進してまいります。」

■ ドミニク・アミリアン プロフィール

国際的な農業セクターで30年以上の経験

1987年にリマグレンに入社。

フランスとイタリアにて、営業職、マネジメント職、経営職を歴任。

ヴィルモランJardinで国際貿易、マーケティングの責任者を務める。

2011年にヴィルモランーみかどに、世界貿易マネージャーとして参画。

2018年から2年間、代表取締役副社長を勤め現在に至る。

今後は、フランスと千葉に本社をおくヴィルモランーみかどの代表取締役社長を就任する。



ヴィルモランーみかどについて

日本とフランスの種子会社の活動を組み合わせたビジネスユニットであるヴィルモランーみかどは、1743年より専門家に提供する野菜種子の開発、生産、商品化を専門としてきました。そのユニークで独創性に富んだ幅広いラインナップは、5大陸100以上の国々に流通しています。1,000人以上の従業員とともに2018-2019年度に2億1000万ユーロの売上高に達し、そのうち16%を研究開発に費やしています。ニンジンとチョコレートの世界的なリーディングカンパニーであるヴィルモランーみかどは、レタス、トマト、カボチャ、ダイコン、長ネギなどの幅広い野菜種子においても大きな役割を果たしています。海外では、約3世紀前に創業者によって開始された種苗ビジネスを通して、ヴィルモランーみかどは持続可能な森林再生に貢献しています。 www.vilmorinmikado.com

ヴィルモランーみかどは、フランスの農家や国際的な種子会社により運営される農業協同組合、リماغレンの一員です。リماغレンは、すべての人のために、場所を問わず、農業の発展に寄与するという信念をもとに活動しています。リماغレンは植物の遺伝的進化に重点を置きながら、穀物種子、野菜種子、そしてシリアル製品を選別、生産、販売しています。 www.limagrain.com - #Limagrain #リماغレン

<本件に関するお問い合わせ>

みかど協和株式会社 <http://www.mikadokyowa.com/>

〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台 1-4-11

(本リリースについての問合せ先)

マーケティング本部 堀口

Tel: 043-311-6300 携帯: 080-1154-1885